

令和元年度6月（第3回）雲仙市教育委員会定例会会議録

期 日 令和元年6月26日（水）午後1時30分から午後3時30分
場 所 雲仙市千々石庁舎（教育委員会事務局）第2会議室
出 席 者 ・山野義一教育長 ・前田眞一教育長職務代理者
・平山田鶴子委員 ・中村妙子委員 ・森下祐樹委員
・事務局 （下田教育次長、小松参事監兼総務課長、草野学校教育課長
生涯学習課中島参事補
総務課森田参事補（書記）

欠 席 者 柴崎生涯学習課長、本田スポーツ振興課長

会議日程

第1 前回会議録の件

第2 報告事項

- (1) 教育長の報告
- (2) 各課の事業等の取り組み状況及び計画
- (3) 各課からの報告

第3 付議事項

- 議案第7号 雲仙市立小・中学校学力調査業務プロポーザル審査委員会設置要綱の制定
について
- 議案第8号 雲仙市立小・中学校学力調査業務プロポーザル審査委員会委員の委嘱につ
いて

第4 その他

- 令和元年度第1回総合教育会議について
次回雲仙市教育委員会定例会の招集日程について

教育長が令和元年度6月（第3回）雲仙市教育委員会定例会の開会を宣言する。

日程第1 前回会議録承認の件

「前回会議録承認の件」を議題とし、令和元年度第2回定例会会議録署名委員に平山委員及び森下委員を指名する。

事務局

- ・定例会会議録を読み上げ提案する。

委員

- ・昨日（6/25）実施された中総体陸上競技においては、「公認」の大会として実施されていた。県陸協のホームページにも記録がアップされていた。

教育長

- ・学校教育課からの働きかけが功を奏したのではないのか。感謝申し上げる。

教育長

- ・意見、質問がないことから第2回定例会会議録の承認を宣言する。

日程第2 報告事項

（1）教育長報告

教育長が、月例報告について説明・報告する。

委員

- ・中学校部活動指導者等研修会（6/13 実施）について、部活動の今後の在り方について、意見や質問は出たのか。

事務局

- ・質疑では、部活動ガイドラインについての意見があった。主な意見として、「国・県から出されたガイドラインであるので、守らなければならないのではないのか」「子供の意見は聞かなかったのか」「守らなかつたら罰則があるのか」等があった。

委員

- ・部活動の在り方が大きく変わろうとしているのではないのか。部活動の指導者や外部指導者は、すごく不安だろうと感じる。

教育長

- ・雲仙市議会定例会の一般質問及び常任委員会について報告する。

委員

- ・山本議員の質問（中学校の部活動について）について、9割近くの生徒が部活動に所属しているとあるが、これは本当か。

事務局

- ・合併後から統計を取っており、87%~88%程度で推移しており、文化部も含めた数値として約9割としている。

(2) 各課の事業等の取組状況及び計画

事務局

- ・資料により各課別に説明する。

委員

- ・学力調査結果について、小学校時点と中学校時点での比較等を実施しているのか。

事務局

- ・同一学年集団の追跡比較は出来ている。基本的に小学校での成績が中学校へ繋がっている状況である。

委員

- ・極端に差がある学校があるが、調査の仕方も影響しているのではないのか。教師の指導力の差が出ているのではないのか。また、授業自体が崩壊しているのではないかと数字だけ見るとそのように不安に思ってしまう。

事務局

- ・本調査が始まった時点では、今回の結果よりかなり悪い状況であった。市教委としては県の平均を目指してきた経緯があり、現在は県の中間あたりまで到達している。これからはどうかと考えている。

教育長

- ・全体的には学力がついてきていると感じているが、母数が少ないため年度で差があるのだろう。

委員

- ・学校の先生が、本音で市教委に対し意見することは難しいが、学力調査の結果について本当に自分たち（先生方）の指導力が悪いのかどうか、そのあたりをはっきり述べていただき改善に繋がればと思うが。

事務局

- ・県立中や私立中へ進学した本市の小学校卒業生が、地元の市立中学校へ進学したと仮定しシミュレーションを行ったが、ほとんど変わらない結果であった。それよりも、点数が低かった子が徐々に上がっていることについて先生方は実感されているのではと考える。

事務局

- ・点数ばかりに目が行き過ぎても良くないと感じる。今回の調査で雲仙市の子供たちが苦手にしている問題が分かっており、各学校ではどのように授業を改善するか工夫しているので、今後を期待したい。

委員

- ・学校実態調査に関連して、教師による体罰の件数等についてお尋ねしたい。

事務局

- ・昨年度は2件、今年度は1件報告があっている。

委員

- ・何か起こった後に指導するのではなく、事前に教職員を守る上でもアンガーマネジメントの研修を実施してはどうかと感じた。

事務局

- ・校長研修等において、体罰についての指導をほぼ毎回行っている。具体的にどのようにして体罰を防いでいくか、どのような考えを持たなければならないか等、校長を中心に指導を行っている。

教育長

- ・10分間の休憩を挟む。

～14時45分から14時55分まで休憩～

教育長

- ・会議を再開する。

(3) 各課からの報告

事務局

- ・総務課より、外国語指導助手（ALT）の退任者及び新任者（共に3名）について説明する。
- ・総務課（スポーツ振興課案件）より、市民ラジオ体操会及び第6回雲仙市民運動会の開催について説明する。
- ・生涯学習課より、公の施設（雲仙市小浜歴史資料館）の指定管理者募集内容について説明する。

日程第3 付議事項

- 1、議案第7号 雲仙市立小・中学校学力調査業務プロポーザル審査委員会設置要綱の制定について

事務局

- ・報告資料により説明

教育長

- ・プロポーザルについて説明を。

事務局

- ・業者を決定する方法として、通常は金額を一番安く提示した業者を選定するが、プロポーザル方式は、金額だけではなく提案内容も含めて審査（点数化）し業者を決定する。

教育長

- ・意見、質問がないことから承認を宣言する。

- 2、議案第8号 雲仙市立小・中学校学力調査業務プロポーザル審査委員会委員の委嘱について

事務局

- ・報告資料により説明

教育長

- ・意見、質問がないことから承認を宣言する。

日程第4 その他

- 1、令和元年度第1回総合教育会議（7月23日実施）における協議内容について説明する。

- 2、令和元年7月30日（火）午後1時30分から7月定例会を雲仙市千々石庁舎（教育委員会事務局）第2会議室で開催することを確認する。

教育長

- ・ほかに意見、質問、報告等がないことを確認し、令和元年度6月（第3回）雲仙市教育委員会定例会の閉会を宣言する。